

# 亜リン酸肥料で黒大豆土壌病害に対する抵抗力向上

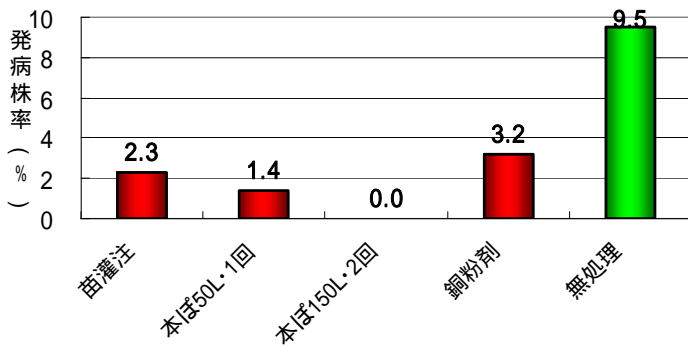
背景：篠山の黒大豆で土壌病害が多発生、対策に苦慮



ねらい：亜リン酸で大豆の病害抵抗力を強化し、発病回避

亜リン酸とは：

- 1 化学式  $H_3PO_3$ 、リン酸 ( $H_3PO_4$ ) より吸収極めて良
- 2 肥料登録有り(着果・結実促進、果実品質向上、根群伸長効果)
- 3 カンキツで病原菌感染時に抗菌物質生成を促進し、病斑を抑制



亜リン酸処理  
(500倍、本ば150L/10a 2回)



無処理

図1 亜リン酸の散布方法、量が立枯性病害の発生に及ぼす影響

亜リン酸液肥500倍希釈。苗灌注は定植当日6月22日、1L/箱(128穴)処理、本ば1回処理は6月28日、2回目は7月12日、株元散布、散布量は10a当たり。銅剤は6月28日、3kg/10a株元散布。

## 耐病性向上のための亜リン酸液肥施用方法

- 1 6月下旬、7月中旬の2回、500倍を150L/10a株元散布しますと、高い耐病性向上効果、さらに増収効果もあります。
- 2 1回散布では、6月下旬～7月上旬に行います。散布量は50L/10aでも有効ですが、150L/10aと多い程有効です。
- 3 セル苗移植の場合、移植直前、苗に500倍、1L/箱で、灌注する方法も省力的です。
- 4 苗に灌(かん)注後、7月中旬に本ばで株元散布を併用するのも有効です。



黒大豆の安定生産と産地維持を目指します

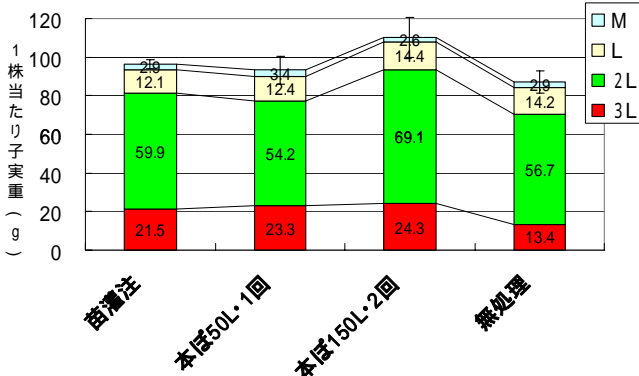


図2 粒径別収量 バーは標準誤差

